

科目名	形態機能学Ⅱ Structure & Function of the Human Body Connected to Nursing		担当教員 (研究室番号)	菱沼 典子 (201) 他		教員への連絡方法 (メールアドレス)	michiko.hishinuma@mcn.ac.jp					
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	専門支持科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
											オープンクラス	否
科目 目的	形態機能学Ⅰと合わせて、正常な人体の構造と機能について、看護実践に結びつけて理解することが目的である。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
	関連する DP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度) G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・論理的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断)										
到達 目標	形態機能学Ⅰと合わせて 1 人が生物として生きていくのに必要なことは何かを、日常生活行動と関連付けて説明できる。 2 人の24時間の生活行動を体がどのように遂行しているかを説明できる。 3 皮膚の外から透視した、内臓の形、位置関係を図示できる。											
成績評価方法 (基準)	定期試験の成績(100%)：試験の範囲は「食べる」から最後まで											
再試験の有無と 基準等	再試験は必要と認めた場合に実施する。											
教科書	菱沼典子：看護形態機能学生活行動からみたからだ 第4版、日本看護協会出版会、2019											
参考書等	教科書のみでは不足なので、以下の①～③の中から使いやすいものを手元に置かれることを推奨する。 ①ヴェルナー、ブラッツァー、平田幸男訳：分冊解剖学アトラスⅠ、Ⅱ、Ⅲ 第6版(原著10版)、文光堂 ②ヴェルナー、ブラッツァー、平田幸男訳：解剖学アトラス(原著10版)、文光堂 ③坂井建雄、岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎 [1]人体の構造と機能 第10版解剖生理学、医学書院 以下は読み物として紹介する。 菱沼典子：看護につなげる形態機能学、メヂカルフレンド社 菱沼典子：図解見えない体、ライフサポート社 坂井建雄：東大講義録解剖学はじめての一步、日本医事新報社											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	看護学は健康の視点から、人とその人の生活を対象とする学問である。人は体という実体を有しており、その体があるような造り(形と働き)になっているかは、看護学において最も基本的な知識の一つである。体の知識は、病気の理解、病気等による生活行動への支障の理解、看護援助につながるため、しっかり身につけてほしい。また、この科目は1年次前期に置かれており、大学における学習方法を身につけることも目標としている。 基本は講義とグループ学習で行う。 形態機能学Ⅰに引き続き、自分のノートを作成すること。 献体によるご遺体の解剖見学(三重大学解剖学実習室において)を実施する。											
備考	本科目は、大平(母性看護学)、大西(形態機能学Ⅲ、Ⅳ)、小池(心理学)、脇坂(成人看護学)、関根(成人看護学)、菅原(基礎看護学)、岡根(基礎看護学)、田端(老年看護学)、篠原(在宅・公衆衛生看護学)、平生(在宅・公衆衛生看護学)が適宜参加する。学習項目の順番、担当者が変更する場合がある。 形態機能学Ⅱは形態機能学Ⅰを終了後に開始する(6月)。奇数回は火曜日、偶数回は木曜日の予定である。 本教科の内容は、形態機能学Ⅲ、Ⅳ、Ⅴとも関連するので、各自内容を照らして統合して学んでほしい。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	解剖実習(実習日時は別途指定する)				献体の意義を理解し、ご遺体への感謝・畏敬の気持ちを込めて、実習のはじめとおわりに黙とうを捧げる。 既習の内容を復習の上、脳、胸腹部器官、骨の形態を観察する。				菱沼 小池 大西他	実習 見学		
2回	解剖実習(実習日時は別途指定する)				同上				菱沼 小池 大西他	実習 見学		
3回	食べる②				摂食、嚥下 消化と吸収(胃、十二指腸、肝臓、すい臓、空腸・回腸、結腸)				脇坂	講義		
4回	食べる③				吸収された養分の配送(門脈) 肝臓				菱沼	講義		
5回	息をする①				産声 気道 肺				田端	講義		
6回	息をする②				換気 ガス交換				関根	講義		
7回	トイレに行く①				尿意と排尿 膀胱、尿管 腎臓				菱沼	講義		
8回	トイレに行く②				尿道、前立腺 便意と排便 S状結腸、直腸、肛門				菱沼	講義		
9回	眠る				生体の活動—睡眠のリズム(サーカディアンリズム) nonREM睡眠、REM睡眠、睡眠周期				菱沼	講義		
10回	話す・聞く(コミュニケーションの基本形である会話)				発声までの過程に関わる器官 聴覚、音の認識				菱沼	講義		
11回	子どもを生む①				男性と女性(遺伝子、性ホルモン) 受精 人体の発生				菱沼	講義		

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
12回	子どもを生む②	男性生殖器（精巣、精管、陰茎） 女性生殖器（卵巣、卵管、子宮、膣）	菱沼	講義
13回	病者の体	ストレスへの体の反応（難破船の仁王さん） ストレス状況にある人々に看護は何をしているかを、体の仕組みから考える。	菱沼	講義
14回	体の知識の使い方①	ケーススタディ	菱沼	演習
15回	体の知識の使い方②	ケーススタディ 皮膚の外から透視した、内臓の形、位置関係を図示できることを確認する。	菱沼	演習

学 習 課 題

- ① 人体の白地図に内臓を描き入れて、他者に説明可能な図になるよう、各自で練習をすること。
- ② 14, 15回目では、形態機能学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を使って、病気の理解、看護援助への理解に結びつけるケーススタディを行う。事前に課題を提示するので、準備をして参加すること。

実務経験を活かした教育の取組

実務経験を活かし、生活、病気に結び付く取組をする。